

消防消第 88 号  
平成 31 年 3 月 29 日

各都道府県消防防災主管部長 } 殿  
東京消防庁・各指定都市消防長 }

消防庁消防・救急課長  
( 公 印 省 略 )

### 警防活動時等の安全の確保について

今年に入り、警防活動中に消防職員が死亡する事故が相次いで発生したことに鑑み、「安全管理体制の整備について」（昭和 58 年 7 月 26 日付け消防消第 90 号）及び「警防活動時等における安全管理マニュアル及び訓練時における安全管理マニュアルの一部改正について」（平成 28 年 3 月 31 日付け消防消第 63 号）等に基づき、安全管理体制の再点検及び安全管理マニュアルの再徹底を図るなど、事故防止に万全を期するようお願いしているところです。

この度、平成 31 年 2 月 21 日付け消防消第 47 号で依頼しました「消防吏員の公務による死傷者数等の調査について（依頼）」の結果が取りまとまりましたので、別添のとおり送付いたします。本調査結果を活用し、更なる安全管理の徹底に努めていただきますようお願いいたします。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合及び広域連合を含む。）に対してこの旨周知されるようお願いいたします。

消防庁消防・救急課 職員第一係 田村・森重 TEL : 03-5253-7522 FAX : 03-5253-7532 E-mail : shokuin@soumu. go. jp
--

## 消防吏員の公務による死傷者数等の調査結果について（速報）

### 1 消防吏員の公務による死傷者

（単位：人）

内訳 年 区分	死者		負傷者	
	30	29	30	29
火 災	0	1	168	194
風水害等の災害	0	1	27	12
救 急 業 務	0	0	168	258
演 習 ・ 訓 練 等	7	10	378	452
特 別 警 戒	0	0	2	2
捜 索	0	0	1	6
そ の 他	0	3	341	354
合 計	7	15	1,085	1,278

※平成 30 年中は速報値 ※平成 29 年の死者及び負傷者の出典：消防白書（平成 30 年）

### 2 死者の発生状況について

- 平成 30 年の死者は 7 人となっており、その内訳はすべて「演習・訓練等」となっている。
- 「演習・訓練等」の事案は、消防防災ヘリコプター墜落によるものである。

### 3 負傷者の発生状況について

- 平成 30 年の負傷者は、1,085 人となっている。
- 負傷者の事由別内訳では、「演習・訓練等」が最多であり、全体の 1 / 3 以上となっている。

### 4 主な受傷事例

#### (1) 消防活動中

1	火災現場において、屋内進入後、急に煙が噴出したことで退路を見失い、濃煙熱気の中で空気呼吸器のボンベの残圧がなくなったため面体を外し、救出後に搬送
2	建物火災出場時、住宅が密集している薄暗い通路を通った際にブロックのような石の障害物に足が引っかかり、転倒し受傷
3	屋根で活動する隊員の安全管理を行うため、架ていしてあった三連はしごを登ったところ、はしご上部付近（地上高約 3 m）で急にはしごが手前方向へ滑り、そのままアスファルト上へ墜落し受傷
4	山地救急救助事案において、要救助者のいる地点に向け、沢沿いを徒歩移動していたところ、雪渓に覆われた斜面で滑落し、岩場に転落し受傷

5	救急支援活動の現場で周囲が暗かったことから、ヘッドライトの灯りで現場に向かったところ、地面の凹凸に気づかず足を取られ転倒し受傷
6	台風による倒木除去のため出場し、チェーンソーにて倒木を切断した際、張り綱を持った職員の上に倒木が落ち、それにより転倒し受傷

## (2) 訓練中

1	ホースを持って三連はしごを登り中、バランスを崩し、地上に飛び降り受傷
2	消防署庁舎にて高所から地上への救出訓練中、資機材が高所から落下しそうになったことから、それを支えようとした職員が約7mの高さから墜落し受傷
3	はしご登はん訓練において、登はんしたはしごを降りた際、高さ7m付近ではしごの横さんをつかみ損ね、命綱が緩んでおり確保が弱かったことから、地面まで墜落し受傷
4	ロープ応用登はんの訓練において、壁面に中腰で構えている補助者の左太ももと右肩を踏み台にしてロープに飛びついた際、ロープを掴み損ね1.5m～2mの高さからバランスを崩してアスファルトの地面に転落し受傷
5	はしご車の操作指導中、乗降ステップで踏み外してバランスを崩し、アウトリガー上への転落を避けるため飛び降りて受傷
6	水難救助訓練終了後、資機材撤収の補助のため、高さ約2mの堤防上より、入水要領にて入水したが、水深が浅く受傷

## (3) その他

1	油圧救助器具のスプレッダー取扱い展示において、長さ約10cmの単管パイプを圧縮した際、圧縮した単管パイプが横滑りし、単管パイプを固定していた手がスプレッダー先端に巻き込まれ受傷
2	消防車両の車庫入れ誘導中、車両右側後方が消防署庁舎に接触しそうになったため、車両を止めようととっさに左腕を差し出した際、左前腕部が車両と庁舎に挟まれ受傷
3	仮設訓練塔の解体作業していたところ、固定されていると思っていた塔の部分が固定されていなかったためバランスを失い、高さ約4.5mから地面に墜落し受傷
4	建物火災の現場調査のため一人で現場に向かい、高さ約13mの立木に登り、現場全体写真を撮影していた際、手にかけての朽木が折れ、高さ約3.5mから墜落し受傷
5	消防学校入校中の職員が寮室に戻るため走って移動した際、入口ガラス扉が解放されていると錯覚し、ガラス扉に衝突し受傷
6	車庫内の高さ3mの中二階の資器材整理を行うため、はしごを立て掛けて登る際、1.5m程登ったところではしごの基底部分が滑り出し、バランスを崩して転落し受傷

7	仮眠中、出場指令によりベッドより起き上がり、仮眠室内を移動していたところ、床に置いてあった物につまずいて転倒し受傷
8	キャスター付きの椅子に上がって探し物をしていた際、椅子から降りようとしたところキャスターが滑り出し、バランスを崩して転落し受傷
9	事務所2階のブラインドを直そうと、窓枠の外にある0.5mの出張部分に足をかけて作業中、足を滑らせ6m下に墜落し受傷